

会議名：令和３年度 第１回三原村地域公共交通会議 議事概要

日時：令和３年 11 月 1 日(月) 13:30～15:00

場所：農業構造改善センター 農事研修室

出席者：山本、出海、岡田（代理：杉浦）、小松、寺村、西内、市原、杉本、藤本、嶋田、
沢良木、宮崎、宮渕、矢野、武内、中内、新谷、阿部、岩本、岡村、片岡
（名簿順、敬称略）

決定事項

- 出席者が委員の過半数を超えており、開催条件を満たしていることが確認された。
- 資料１に基づき、今年度の目標は「三原村地域公共交通計画」を作成すること、また必要な機材事項などについて説明が行われた。説明後、質疑の時間が設けられたが、質問は無く、計画作成を行うことが了承された。
- 会長及び副会長の選任が行われ、会長は矢野龍幸（三原村副村長）、副会長は藤本節雄（三原村区長会会長）が選任された。
- 資料２及び資料３に基づき、三原村地域公共交通計画の目次予定と公共交通などの現状整理結果の説明と質疑が行われた。
 - ・主要施設については、川村内科（宿毛市平田町戸内 1256）を追加することとなった。川村内科は透析等で通院している利用者が居るとの意見が挙げられた。
 - ・自動車等の様々な移動手段を含め、公共交通網との接続改善策等を計画に記載することとなった。
 - ・三原バスの特徴について質問があった。以前はスクールバスと一般旅客は別々で、7 台程度で運行されていたが、現在は混乗で 3 台の車両で運行している。スクールバスの時刻制約があることが説明された。
 - ・西便の運行ルートに関して、大字広野幸才において、現在は旧道を運行しているが、新しく開通した県道を運行してはどうかとの意見が挙がった。利用状況も踏まえ、反対意見は出なかった。
 - ・公共交通空白地について質問があった。三原バスは路線的にはほぼ村内全域を網羅している。源谷地区の 2 軒が空白地とあるであるが需要は無いとの意見が挙げられた。上長谷の江ノ谷地区には利用したいとの声があるとの意見が挙げられた。
 - ・バスや福祉タクシーの利用者は半年から数年程度で入れ替わっているとのコメントが挙げられた。
 - ・福祉タクシーの利用状況について質問があった。日変動が大きい、感覚としては日平均 2～3 人との回答があった。
 - ・三原バスの混雑状況について質問があった。相席するなど譲り合っており、乗車できない事は発生していないとの回答があった。
 - ・村内と平田を結ぶ路線を西南交通の路線バスにできないかとの意見が挙げられた。

- ・高齢者だけでなく、若い世代が利用する仕組みを考えることも重要ではとの意見が挙げられた。年齢に関係なく、公共交通が移動の選択肢であることが重要。
 - ・学生の利用について質問があった。実態としては、宿毛市と四万十市へは通学、他は下宿、原付免許を取得するまでは公共交通を利用するが、取得後はバイクが多いとの回答があった。
- 次回は12月24日(金)に開催することとなった。

以上